

稗田小学校「学力向上プラン」全体計画

【児童の学力実態】

- ◎基礎学力の定着
- ◎学ぼうとする意欲や態度が弱い
- ◎読解力の不足

【育てる学力】

- ◎自ら学び考えようとする力(学習への関心・意欲・態度)
- ◎問題解決能力(思考力・判断力・表現力等)
- ◎各教科における基礎・基本の力

【基本的な考え方】

- ◎学力向上推進委員会による積極的な推進
- ◎教職員の実践的指導力を高める校内研修の充実

【重点を置いて取り組む教科、領域】

- ◎道徳(主題研)
- ◎算数科、国語科、総合的な学習の時間
(基礎・基本の力の育成)

【学力向上を図る学習指導】

- ◎主題研究を通して(道徳)
- ◎「豊かな心を持ち、進んで実践しようとする稗田っ子の育成」
- ◎個に応じた指導の実施
 - ・TT、少人数授業
 - ・課題別、習熟度別学習
 - ・発展的、補充的学習
- ◎基礎、基本の確実な習得
 - ・週案の作成と計画的な実践
 - ・反復練習
 - ・小テストの実施(計算・漢字)
- ◎形成的評価の活用
(児童の自己評価活動の位置づけ)
- ◎総合的な学習の時間の充実

【学力定着を図る日常的指導】

- ◎読み・書き・計算等のスキルタイム
 - 朝の活動(8:30~8:40)
 - ・読書タイム(毎日)
 - 授業の中で(5分間ドリル)
 - ・算数(計算タイム)週2回
 - ・国語(漢字・音読・視写等)
- ◎個に応じた学習指導の充実
 - ・個別指導(昼休み・放課後)
 - ・TT、少人数授業
 - ・家庭学習の充実
 - ・自ら課題を設定した学習
(自主学习)

【評価の仕方と評価を生かす指導の改善】

- ◎評価規準に基づいた評価の実施(指導と評価の一体化)
- ◎学期末・学年末における学力定着テスト(チャレンジ週間、学力テスト)
- ◎評価結果の分析、指導の改善
- ◎評価委員会による推進体制づくり

【本校職員の指導力向上のための研修】

- ◎授業研究の実施を通しての指導方法工夫改善
- ◎基礎学力を確かに身につけさせる実践的指導法の研修
- ◎研究発表会、教育センター、各種研修会の主体的な参加、研修内容の報告

【評価結果・改善策等の公表】

- ◎学校・学年・学級通信(学習のねらいや内容・評価等)
- ◎保護者懇談会(年3回)

【読書活動】

- ◎全校一斉「朝の読書」(毎日)
- ◎学校図書館での読書指導の推進
- ◎親子読み聞かせ読書(PTA)
- ◎市の移動図書館「ゆっくん」の活用


【家庭学習】

- ◎家庭学習の習慣化・家庭との連携(家庭学習の手引き)
- ◎時間目標設定(低学年二十〜三十分 中学年四十から五十分 高学年一時間以上)
- ◎個に応じた家庭学習(日常的に・長期休業中に)

基礎・基本の手引き

稗田小学校

学年等	基 礎・基 本
1 年	<ul style="list-style-type: none"> ① ひらがな・カタカナの清音すべてが読めて書ける。 ② 拾い読みではなく、文章が読める。 ③ 配当漢字のすべてが読め、8割の漢字を書くことができる。 ④ 助詞の使い分け(てにをは)を適切に使い分けて文章がかける。 ⑤ 繰り上がりのあるたし算・繰り下がりのあるひき算ができる。(90%)
2 年	<ul style="list-style-type: none"> ① 拾い読みではなく、文章がすらすら読める。 ② 配当漢字のすべてが読め、8割の漢字を書くことができる。 ③ 時間を追って、経験を話したり、書いたりできる。 ④ 九九がよどみなく言える。(90%) ⑤ 2位数までのたし算・ひき算の筆算ができる。(90%) ⑥ 決められた長さの直線を正しく引くことができる。(90%) 
3 年	<ul style="list-style-type: none"> ① 句読点に気をつけて、はっきりした声で音読できる。 ② 配当漢字のすべてが読め、9割の漢字を書くことができる。 ③ 人に分かるようにはっきりとした受け答えができる。 ④ 3位数のたし算・ひき算の筆算ができる。(念頭で、90%) ⑤ 除数と商が1位数のわり算が正しくできる。(90%) ⑥ 2位数×2位数、2, 3位数×1位数、3位数×2位数のかけ算の筆算ができる。(90%)
4 年	<ul style="list-style-type: none"> ① 句読点に気をつけて、はっきりした声で音読できる。 ② 配当漢字のすべてが読め、8割の漢字を書くことができる。 ③ ローマ字を適切に読み書きできる。 ④ 国語辞典、漢和辞典を正しく使うことができる。 ⑤ 1位数、2位数でわるわり算の筆算ができる。(90%)
5 年	<ul style="list-style-type: none"> ① 内容がよく分かるように音読できる。 ② 配当漢字のすべてが読め、8割の漢字を書くことができる。 ③ 体験や調べたことを簡潔にまとめ、分かりやすい文章で書ける。 ④ 小数のかけ算やわり算ができる。(70%) ⑤ 円周や円の面積を求めることができる。(70%)
6 年	<ul style="list-style-type: none"> ① 内容がよく分かるように音読できる。 ② 配当漢字のすべてが読め、8割の漢字を書くことができる。 ③ 体験や調べたことを簡潔にまとめ、分かりやすい文章で書ける。 ④ 異分母分数のたし算やひき算ができる。(80%) ⑤ 分数のかけ算やわり算ができる。(80%)

<p>指導の原則</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ① 基本的な生活習慣(鉛筆の持ち方、忘れ物をしない、返事、姿勢、人の話を聞く、忘れ物をしないよう連絡帳をきちんと書く・見る)を身に付ける。 ② 習っていない漢字でも必要に応じて読みを意識づける。 ③ できる限りノートにていねいに書かせることに努力する。 ④ 定規やコンパスなど、上手に使えるよう指導する。 ⑤ 筆算には必ず定規を使わせる。 ⑥ 百マス計算のような反復練習を大切にしていく。 ⑦ 文章問題は、式・筆算・答えの3つを必ず書くこととし、筆算は消さない。 ⑧ 家庭学習は、学年×10分程度を基本にする。そして、それに応じた宿題を出すものとする。
--	---